

小川 好美 氏（富山県朝日町）



小川氏とプチヴェール

・平成10年に就農し、朝日町で初めて家族経営協定を締結。就農条件の整備や役割を明確にし、後の法人化に引き継がれるとともに、話し合いを中心に夫婦、姉妹、親子が対等な立場で経営に関わるスタイルを生み出した。

・平成17年に法人化した「アグリおがわ」の取締役として園芸部門及び経営事務全般及び労務管理を担当し、農業経営の発展に貢献。令和3年度には約87ha、従業員・パートを5名雇用するなど、JAみな穂管内でも有数の大規模法人に発展している。

・就農と同時に、女性が中心となって取り組める園芸品目の導入を家族に提案し、水田作経営の複合化の先導的な役割を担ってきた。

〈プチヴェール〉平成20年に系統出荷団体「プチの会」を7戸の生産者で結成。栽培技術の定着や販売の推進等、産地形成に大きく貢献。市場出荷の他、直売所での販売に加え、県内のフレンチレストランに品質が評価され取引が始まるなど、町内外の飲食店へ食材として供給。

〈ラズベリー〉平成26年に県内20名の生産者で結成された「富山県ラズベリー研究会」の会長として栽培技術確立と販路開拓に貢献。現在、近隣市町の飲食店、洋菓子店、アイスクリーム店等の7店舗と直接取引を行っている。



ラズベリー



柿じまん（柿酢入り調味液）

・朝日町特産あさひ柿で作られている「柿じまん（柿酢入り調味液）」の製造を継承するため、平成24年に新たな農産加工グループ「美の里じまん」を結成し、営業活動の強化により朝日町だけでなく入善町の学校給食、地元温泉旅館の料理などへも採用されている。

・里芋コロッケを製造する「百笑一喜」やJAみな穂農産物直売所「あいさい広場」への野菜供給を図る「おいしい野菜部」など、意欲的な女性農業者が活動する組織活動に参加し、町の境界を越えた会の活動の盛り上げや仲間づくりなど、女性起業活動を支える存在として広く貢献。